

POLICE Information

夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止

★少年非行等の現状★

本年4月末の刑法犯少年は347人で、前年同期比42人(13.8%)増加しており、その中で中学・高校生の占める割合は全体の253人(72.9%)と高水準で推移しています。

また、初発型非行(他の犯罪の入口になることが多い、万引き、自転車盗、オートバイ盗、占有離脱物横領の総称)が全体の約65%を占めており、中でも自転車盗やオートバイ盗で検挙した少年が前年同期に比べ29人(48.3%)増加しています。

次の点に注意してください。

【夏休み中の少年非行・家出を防止しましょう！】

毎日の生活の中で、子どもの言葉や生活態度に注意して、帰宅時間が遅くなったり、深夜外出、無断外泊が多くなるウソをついたり、ソワソワして落ち着きがなくなる付き合う友だちが変わり、服装が派手になったり、化粧をする

■携帯電話の使用時間が長くなる

など、非行の「兆し」を早期に発見し、適切な指導を行って非行の未然防止に努めましょう。

巡回連絡
ご協力をお願いします

- 巡回連絡は、制服警察官が各家庭や事業所を訪問し、振り込め詐欺の予防や、交通事故防止など、指導連絡などを行います。
- ご家族の構成や非常時の連絡先などをお聞きますが、災害等の非常時に活用されます。
- 巡回連絡の際、警察に対しての要望、相談などもお気軽にお話しください。

〈お問い合わせ〉高森警察署 TEL(62)0110

なんでも

南部分署

第39回消防救助技術大会(陸上の部)



5月24日、日ごろから鍛えている体力および救助の技術を競う「消防救助技術大会」が県消防学校で開催されました。県下13消防本部の職員が厳しい署内選考会を突破し、各消防本部の代表として出場しました。

阿蘇広域消防本部からも署内選考会を突破した26人の職員がさまざまな種目に出場。残念ながら九州大会と全国大会への出場権を得ることはできませんでしたが、応援にいられた地域住民の皆さんに、日ごろの訓練の成果をアピールすることができました。

もし溺れている人を発見したらどうしますか？



6月に入り小学校や中学校でプールの授業が始まり、海水浴場でも海開きが行われ水に触れる機会が多くなる季節になりました。この時季に増えるのが水による事故です。もし自分の周りで溺れた人を発見したらどうしますか？

①大声で助け(周りの人)を呼ぶ。

■119番通報して消防隊を呼ぶ。

■泳ぐ自信があるからといって、決して自分で助けに行かない。

②浮力があり、浮き輪の代わりになるものを探し、溺れている人に渡す。

(ペットボトルやランドセルなど、水に浮く物)

③溺れている人に声を掛け、安心させたいうえで「浮いて待つ」ように指導する。

〈お問い合わせ〉阿蘇広域行政事務組合 消防本部 南部分署 TEL(62)9034 火事・救急 119

